

平成30年度 第2回がまごおり協働まちづくり会議議事要旨

日時 平成30年6月26日(火)

午後2時～4時

場所 蒲郡市役所新館6階601会議室

1 開会

事務局より配布資料の確認、欠席及び途中退席者の報告

2 議題

(1) 平成30年度第1階議事要旨の確認について

- 事務局より第1回まちづくり会議議事要旨を説明
委員に意見を伺い、特に意見がなく承認された。

(2) 平成30年度採択団体事業実施状況について

- 今年度採択事業(はじめの一步)「愛知子どもと本と文化の会 蒲郡支部」の行事である「えほんであそぼう」について事務局より報告
 - ・参加者数は親子連れが21組(大人25名、乳幼児27名)、一般10名、会員11名、総数73名。夫婦での参加、祖母の参加、外国人夫婦での参加があった。
 - ・牛乳パックのおもちゃをプレゼントしていた。また、参加者に牛乳アレルギーの子どもが参加する可能性もあるので、準備段階で入念に消毒をしたとのこと。
 - ・昔遊びの絵本を読んでもらった。かごめかごめなど。
 - ・次はしおつ児童館。小学校1年生から4年生、夏休み中なので人数が把握できないが、50人くらいを予想しており、その人数でできるワークショップを考えている。

(3) 人材育成連続講座について

- 人材育成連続講座(案)について、事務局より説明
 - 身近なところから「まちづくりに参加しよう」という意識を育てることを目的に実施。ボランティア活動に興味のある方や活動をしている方を対象に実施。3回連続講座。
- 委員の意見
 - ・身近に、時間やお金に余裕のある人たちがいると感じている。そういう人たちを巻き込んで活動ができればよい。
 - ・誰に参加してもらってもよいが、対象の書き方を工夫すべきである。
 - ・ボランティア活動に取り組んでいる人たちは、自分では「ボランティアをやっている」とは思っていない。自分事だから自ら取り組んでいる人たちばかりである。
 - ・流行のことばとして「ボランティア」はキーにはならないだろう。ボランティア=特殊なことというイメージがあるが、町内会での手伝いや小さなこともボランティアに含まれると思う。「ボランティア」という言葉を使わない方がよい。
 - ・今年1回だけで終わることがないよう、講座名に「第1回○○○」といれたらどうか。

- ・団体にとって、団体同士の横のつながりが必要。特に、福祉系ボランティアは発信しないと忘れられてしまう。
- ・全く興味のない方には、まちにどんな活動が必要なのか。もう一度自分の地域に興味をもって見直そうと思ってもらえるようになればよい。また自分だけでなく、他人にも興味をもってもらえるとうい。
- ・チラシを作ってもどのように配るかが大事。
- ・チラシは人に会って、顔をあわせて配ることが効果的。集まる場所に出向いて、しゃべりながら渡すのがよい。
- ・団体向け、個人向けの講座の間は少し距離感がある。講座間の交流があればよい。
→団体向けの講座が先行しているはずなので、個人向け講座の参加者に活動団体を紹介してみる。
- ・3回講座ではあるが、1回ずつの参加ではダメか。
→講座は1回ずつ完結しているが、3回連続で受ける事により一層効果が出ると思う。
- ・若い参加者では、蒲郡はボーイスカウトが魅力的。OBも含めて、声をかけてみたら。
- ・試しにやるならば、基本土日で設定したほうがよい。1日ぐらいなら試験的に平日でも良いと思う
- ・団体向け講座はまちづくりセンターに登録されている団体へアプローチする予定。
→実施日は土日(午後)に一度やってみて、不都合があれば平日の夜なども検討する。
団体によっては、土日中心に活動があったりするため。

(4) モデル事業について

○平成30年度モデル事業(案)について、事務局より説明

「公共空間の利活用」をテーマにしたモデル事業について

人が通り過ぎるだけの道路(アピタ東側歩道)に、ちょっとした仕掛けをすることにより、人の流れが変わり、賑わいが創出されるようになるのではないかという実験。ひとつは、人の流れの変化を見るという実験で、もうひとつは、誰もが歩道を利活用できるようにするには、どんなルールが必要になるかという検証を組み入れた実験。

・他の地域での事例が欲しい

→豊田市・駅前から通りまで7箇所ぐらい広場があり、それぞれを誰でも使えるような空間としてみる。机とイスを出すことで休憩スペースとしたり、音を出してみたりなど試験的にやってみて、どのようなものことができるか検証をする。

→駅は電車に乗るためだけの場所だったが、店舗を入れる事によって買い物に行く事が駅へ行くための目的になる。

→実施主体は、協議会など民間・市民が中心。

・行事にならない程度で、日常化していくのが理想。行事となると運営者に負担がかかってくるため。

・日常に馴染んでくることで、そこに交流や顔つなぎが生まれる。例えば、来てくれたお母さんに向けた育児相談など。わざわざ呼ぶのではなく、来場者に対してコンタクトをとる。

- ・豊橋では、金曜日に駅を出てすぐのデッキで路上ライブを実施。出演者をまとめる団体がいて、ルールがしっかり決まっておき健全なイベントだった。
- ・上手に運営できているところは、活動を振り返る機会がある。
- ・地域の年配の方たちが集まる場所があればよい。
- ・アピタの営業妨害をしてはいけない。
- ・水路が汚いので清掃が必要。
- ・小さいことから始めて、やりたい人に対して波及していったらよい。
- ・竹島までの道もキレイに整備されている割に、利用者が少ないのが残念。
- ・ごりやく市の例では、人出のピークはお昼まで。お昼過ぎると客足が引いてしまうので、工夫が必要。
- ・外でやることに対しては、季節・天候等に左右されることがあるので難しい。
- ・道路であるため、まずは安全安心が一番重要な事。最初は多くの条件や禁止事項が提示されるかもしれない。ただし、やりながら軽減していくこともあるのでやってみることが必要。
- ・分からないことを手探りながらやっていくことが重要。参加者が少ないから失敗、ではない。こういうこともできるんだという気づきから、自分達がやりたいことをやれる場所に変えていけたら。
- ・売りたい＝単に売買の場、とはせず、売りたいという思いから色々な人との関係性を構築していくことが大切。
- ・アピタとバッティングしない仕掛けやある時にはアピタとコラボすることが必要。
- ・話し合いの場を設けるなど、手続きといったバックアップを行政に手伝ってほしい。

3 その他

プロボノについて、事務局より進捗を紹介

- ・市内団体で検討していたが、該当団体がなく断念。

次回開催について

事務局より次回日程を提案

8月29日（水） 午後2時～ 601会議室 で決定